

第6学年 国語科学習指導計画

1. 単元名 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう

教材名 「笑うから楽しい」 中村 真

「時計の時間と心の時間」 一川 誠 (指導時期：5月上旬)

2. 単元の目標

- ・ 筆者の主張や事例などについて、考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・ 事実と感想・意見などの関係を押さえ、筆者の意図を捉えながら、自分の考えを明確にして読むことができる。
- ・ 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。
- ・ 自分の考えと根拠を区別し、説得力のある意見文を書くことができる。

3. 指導計画（全8時間）

	時	おもな学習活動（第二課題は●）	◎指導上の留意点 ☆評価
一 次	1 ～ 2	○「筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ～『笑うから楽しい』の読み取り～ ○「笑うから楽しい」を、語句の意味を確かめながら読む。 ○筆者の考えを捉え、挙げている事例との関係を考える。 ○「笑うから楽しい」の要旨をまとめる。 ・キーワード「心の動き」「体の動き」	◎筆者の意図を捉えるとともに、自分の考えをもちながら読んでいくことを確かめる。 ☆自分の考えをもちながら文章を読んでいくことに意欲的に取り組もうとしている。 ◎事例を挙げることの効果、内容の有効性について考えさせる。 ☆筆者が伝えようとしていることをまとめるときに大切だと思う言葉(キーワード)をおさえて要旨をまとめている。
	3 4	～『時計の時間と心の時間』の読み取り～ ○「時計の時間と心の時間」を読み、初発の感想を書く。 ○筆者の主張を捉える。 ○難語句の意味調べをする。	☆初発の感想を交流し、学習の見通しをもっている。 ◎筆者の考えが「初め」と「終わり」に述べられ、「中」で事例を挙げて考えの根拠としている構成を確認する。

二 次	5	○「時計の時間」「心の時間」とは何かを、事例を確かめながら押さえる。 ●第2段落、第3段落の内容を別の事例を使って書き換える。 「例えば、 <u>あなたがゲームに夢中になっているときには、集中しているので、時間を気にする回数が減ります。すると、時間はあっという間に過ぎるように感じます。</u> 」	☆筆者のいう「時計の時間」「心の時間」を、的確に読み取っている。 ◎主張や事例に対して、自分はどう考えるか、思い当たる経験はないか、など意識的に考えさせる。
	6	○筆者の考えに対する自分の考えをもつ。	☆筆者の表現の工夫から、筆者の意図を読み取っている。
	7	○筆者の説明の工夫を押さえる。 ●第4段落、第5段落、第6段落の内容をもとに、「心の時間」について要点をまとめよう。 ①一日の時間帯 ②身の回りの環境 ③人によってことなる感覚	◎実験結果を提示することで、内容の根拠を示していることを理解させる。 ☆心の時間の進み方の違いを、実験結果を根拠に要点をまとめている。
三 次	8	○要旨(筆者が一番伝えたかったこと)をまとめる。	◎学習した説明の工夫を、一覧にして提示する。
	9	・要旨をまとめるときに大切な言葉や文を確認する。『心の時間』の感覚」「二つの時間」「時計の時間」など	◎構成でつまづいている児童には、構成例を提示する。 ☆要旨をまとめ、自分の考えも書けている。
	10	○グループ内で意見を発表し、感想を述べ合う。 ○全体発表を聞き、感想を述べ合う。 ○学習を振り返る。	☆文章を読んで考えた友達の意見を聞き、感想を述べる中で自分の考えを深めている。